



静岡市立芹沢銈介美術館 開館 40 周年記念展 ～春編～

のれんときもの

2021年4月6日(火) ⇒ 6月20日(日)

「春」「夏」「秋」「冬」、4つの展覧会で祝う開館40周年。

静岡市立 芹沢銈介美術館

静岡市駿河区登呂五丁目 10-5 TEL ▶ 054-282-5522
HP ▶ www.seribi.jp Twitter ▶ @seribi_shizuoka



セリザワ色に染まる、開館40周年の春。

1981（昭和56）年6月15日、86歳の芹沢銈介が展示の指揮を取り、自身がテープカットをして開館した静岡市立芹沢銈介美術館。そして2021（令和3）年、開館40周年を迎える当館は、芹沢銈介が愛した「春」「夏」「秋」「冬」になぞらえて、4回の展覧会を開催します。

「春」編は、芹沢銈介の型染作品に焦点を当てた展覧会です。芹沢作品の中でも特に人気がある「のれん」と「着物」を特集。のれんを両手で分けている童児を表現した「童児文のれん」、窯場として有名な鹿児島県苗代川の春の風景を染めた「苗代川文着物」など、「のれん」からは25点、「着物」からは12点を展示します。芹沢の豊かな発想と、華やかな色彩をお楽しみください。



芭蕉文着物（1961）



天の字のれん（1965）



富士の日の出文のれん（1950）



草花文部屋着（1959）

記念日にご来館いただいたお客様には、芹美オリジナル絵はがきを差し上げます！

5/13

芹沢銈介 誕生日

静岡市名誉市民である芹沢銈介は、1895（明治28）年5月13日、静岡市葵区本通で生まれました。今年は生誕126年です。

6/15

芹沢銈介美術館 開館記念日

1981（昭和56）年6月15日、静岡市駿河区登呂に開館した芹沢銈介美術館。今年は開館40周年です。

●会期中、さまざまなイベントを開催する予定です。詳しくはホームページ（www.seribi.jp）をご覧ください。お電話（054-282-5522）にてお問い合わせください。

同時開催

芹沢銈介が集めた世界の民族衣装

後半の展示室3室には、芹沢銈介が集めた貴重な世界の民族衣装40点を展示します。各国の民族衣装で、世界旅行をお楽しみください。



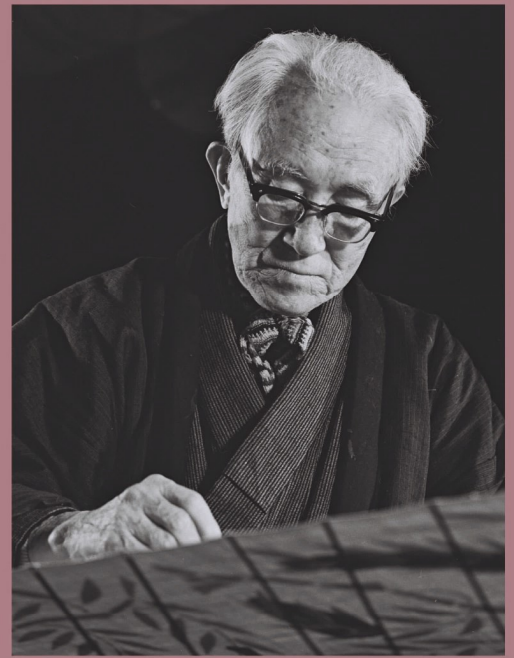
（北アメリカ先住民 クロウ族）
獣歯縫付衣装



刺繍ワンピース
（インド グジャラート州 カッチ）



踊り衣装（ギリシャ）



色差しをする芹沢銈介（1980年3月14日 85歳）



建築家・白井晟一が設計した芹沢銈介美術館。別名は「石水館」。「公共建築百選」に選ばれています。

【開館時間】9:00～16:30

【休館日】毎週月曜日（5/3は開館）、5/6

【観覧料】一般420円/高校生・大学生260円/
小学生・中学生100円/未就学児無料
（団体割引は30名以上でご利用いただけます）

※静岡市内在住の70歳以上の方・小中学生（通学含む）無料

※障がい者手帳等の提示により本人及び同伴者1名は無料

【交通】<バス>静岡駅南口22番バスのりばから「登呂遺跡」行き乗車、約12分終点下車 <タクシー>静岡駅南口から登呂公園へ約10分 <東名高速>静岡I.C.より約10分、日本平久能山スマートI.C.より約5分 <駐車場>登呂公園南側に有料駐車場があります（普通車400円/1日）



静岡市立 芹沢銈介美術館

静岡市駿河区登呂五丁目10-5（登呂公園内）
TEL ▶ 054-282-5522 公式HP ▶ www.seribi.jp
公式Twitter ▶ @seribi_shizuoka（フォローはこちら）



表面作品 右上「苗代川文着物」(部分 1955) 右下「童児文のれん」(部分 1970) 左上「富士と雲文のれん」(部分 1967頃) 左下「沖縄空団扇文部屋着」(部分 1960)